

国際シンポジウム「2nd International Conference of Nitrogen Cycling and Its Environmental Impacts in East Asia」
のお知らせ（2018.11.19～11.22）

第 2 回東アジアにおける窒素循環とその環境影響に関する国際会議「2nd International Conference of Nitrogen Cycling and Its Environmental Impacts in East Asia」が以下のように開催されます。

期日： 2018 年 11 月 19 日（月）～22 日（木）

場所： シンポジウム講演及びポスター発表

つくば国際会議場（エポカルつくば）(<https://www.epochal.or.jp/eng/index.html>)

〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2 丁目 20-3

Towards INMS ワークショップ

オークラフロンティアホテルつくば (<https://www.okura-tsukuba.co.jp/eng/>)

〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2 丁目 20-1

趣旨：

人口増加と経済発展が著しい東アジアでは今後も窒素負荷が増加すると予測され、東アジアにおける窒素管理、すなわち窒素利用の便益の最大化とその環境影響の最小化は、早急に実現すべき喫緊の課題となっています。国際的にも、窒素利用の便益の最大化と脅威の最小化の両立を目指す研究プロジェクトとして、国連環境計画（UNEP）と国際窒素イニシアティブ（INI）が主導し 5 大陸の国々が参加する Towards INMS（国際窒素管理システム）プロジェクトが 2017 年 12 月より 4 年間の計画で開始されました。Towards INMS 内の一課題である「東アジア地域デモンストレーション」では、同地域の窒素管理方向を策定するための研究が日・中・韓・比 4 カ国により始まっていますが、さらに多くの関係者（様々な分野の窒素研究者、関連行政担当者等）の自主的な参画を必要としています。本研究集会は、昨年 10 月に南京で開催された同じタイトルの国際会議の第 2 回目となるものであり、東アジアにおける窒素循環とその環境影響の把握を通じて持続可能な窒素利用の実現を目指すと共に、参加者間の情報共有と意見交換を促し、今後の連携強化を図ることを目的として開催します。なお、初日と二日目の夜間に開催される Towards INMS ワークショップは、関心のある方はどなたでも参加可能ですので、様々な分野からの積極的なご参加をお待ちしています。

概要： 11/19（月）	14 時～ 会議登録，ポスター掲示，アイスブレイカー
	18 時～ Towards INMS ワークショップ I
11/20（火）	9 時～ 開会式，基調講演，一般講演，ポスター発表
	18 時～ Towards INMS ワークショップ II
11/21（水）	9 時～ 基調講演，一般講演，ポスター発表，総合討論，閉会式
11/22（木）	調査地視察エクスカージョン（霞ヶ浦流域内）

募集：

日本土壌肥料学会は、本研究集会内のポスターセッションを、学会主催のスペシャルセッションとして開催します。そこで、「窒素循環とその環境影響」に関する様々な研究分野からのポスター発表を募集します。また、本研究集会内の一般講演（口頭発表）についても、別途、募集が行われる予定です。本研究集会への参加登録・講演要旨等の受付開始時期は、2018 年 6 月中になる見込みです。詳細については、本学会ホームページに掲載予定です。